

第2回福島第一廃炉国際フォーラムについて

2017年3月4日

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

第1回福島第一廃炉国際フォーラム

- 時期 2016年4月10日(日)～11日(月)
- 会場 スパリゾートハワイアンズ ラピータ(福島県いわき市)
- 来場者数 15か国・641名



ウィリアム・D・マグウッド四世
経済協力開発機構原子力機関 (OECD/NEA)
事務局長

Mr. W. D. Magwood IV
Director General, OECD/NEA



ファン・C・レンティツホ
国際原子力機関 (IAEA)
事務局次長

Mr. J. C. Lentijo
DDG, IAEA



マイク・ウエイトマン
元英国原子力規制機関 (ONR) 長官

Mr. Mike Weightman
Former chief executive
Office for Nuclear Regulation (ONR), UK

第2回福島第一廃炉国際フォーラム

趣旨：地元の皆様の声を聴くとともに、福島第一廃炉に関する情報を分かりやすく提供し、併せて国内外の専門家が廃炉の最新の進捗、技術的成果を広く共有するため、第2回福島第一廃炉国際フォーラムを開催します。

日程・場所：

平成29年7月2日（日） 広野町中央体育館
福島県広野町中央台一丁目1番地

平成29年7月3日（月） いわきワシントンホテル
福島県いわき市平字一丁目1番地



協力・後援機関（予定）：

関係省庁、福島県、いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、日本原子力研究開発機構（JAEA）、国際廃炉研究開発機構（IRID）、福島大学、福島工業高等専門学校、福島民報社、福島民友新聞社、日本原子力学会、日本原子力産業協会、東京電力ホールディングス株式会社（TEPCO）、駐日英国大使館、駐日仏国大使館、駐日米国大使館等

第2回福島第一廃炉国際フォーラム

初日(7月2日(日)) 広野町中央体育館

地元の皆様を主な対象としたプログラム

- 福島第一原子力発電所の廃炉とはどのようなものか、どんな特徴があるのかなどについての分かりやすい紹介
- 福島第一原子力発電所の廃炉の現状と今後の展望、地元の皆様の心配や期待などについての意見交換

2日目(7月3日(月))いわきワシントンホテル

技術的専門家を主な対象としたプログラム

- 福島第一原子力発電所の廃炉の最新状況の報告
- 国内外から関連技術の報告及び意見交換
- 福島第一原子力発電所の廃炉に関連した技術ポスター等の展示及び意見交換

WEBサイト、問い合わせ先

WEB: <http://ndf-forum.com/index.html>

問い合わせ先: forum@ndf.go.jp